

特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年7月16日（火曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義弘

1 単元 リズムとなかよし

2 指導計画（8時間完了）8／8

| 時数  | 1         | 2            | 3            | 4                 | 5                            | 6                | 7           | 8               |
|---|-----------|--------------|--------------|-------------------|------------------------------|------------------|-------------|-----------------|
| 以下の学習内容を、1チャック10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャックまで） |           |              |              |                   |                              |                  |             |                 |
| チャックの内容   | 速度に合わせた表現 | 楽曲の気分をとらえた表現 | 楽曲の気分に合わせて表現 | 拍の流れやフレーズに気を付けた表現 | 「たん」と「うん」によるリズム表現と、4拍のリズムづくり | 反復するリズム感を感じ取った表現 | 楽曲に合った表現の工夫 | 楽曲の気分に合わせて表現の工夫 |

3 本時の指導

- (1) 目標 呼びかけとこたえ、速度、拍、反復、音色、リズム、変化を感じ取る
- (2) 準備 CD、音楽デッキ、投影機、プロジェクター、棒二本、棒の台座二個、足形
- (3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

本時では、音楽を聴いて身体表現をすることによって、速度、拍、反復、音色、リズム、変化を感じ取ることができるようにする。また、ゲームや歌を通して、自然に呼びかけとこたえができるようにする。

(4) 指導過程

| 時間配分 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|------|------|---------|
|      |      |         |

|     |                                   |  |
|-----|-----------------------------------|--|
| 3分  | 1 本時の説明                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習内容を児童に伝える。</li> <li>○ 4つのチャックに分ける。</li> <li>○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。</li> </ul>   |
| 7分  | 2 きょくにあわせてからだをうごかそう<br>(速度) (音色)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在の内容をプロジェクターで映す</li> <li>○ 速度を比較する3曲を伝える。<br/>(ミッションインポッシブル マンボナンバーファイブ ノクターン第2番)</li> <li>○ 曲に合わせて体を動かす。</li> <li>○ ノクターン第2番はピアノの絵を掲示し、楽器の種類を示す(音色)。</li> <li>○ 速い、普通、ゆっくりを意思表示する。</li> <li>○ どんな感じの曲だったか言う</li> <li>○ もう一度、曲に合わせて体を動かし、確認する。</li> <li>○ ハンガリー舞曲第5番を紹介する(変化)。</li> </ul>                                    |
| 7分  | 3 反復<br>・しろくまのジェンガ<br><br>・おどるこねこ | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1曲の中に、速い、ゆっくりがあることを伝える。</li> <li>○ 「はじめ、なか、はじめ、おわり」を伝える</li> <li>○ 曲に合わせて体を動かす。</li> <li>○ 「はじめ」、「なか」、「はじめ」を伝える。</li> <li>○ 「はじめ」は一人一人で行い、「なか」は全員連なって動く。</li> </ul>   |
| 10分 | 4 音楽づくり (音階)<br>(リズム) (反復) (変化)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめ、なか、はじめ、おわりの動きを考える。はじめの部分は同じ動きをすることを伝える。</li> <li>○ 一曲を通して、曲に合わせて体を動かす</li> <li>○ 三線「ていんぐぬ花」を聴き、感想を聞く。</li> <li>○ 「はじめ、なか、はじめ、おわり」で音楽をつくることを伝える。</li> <li>○ 沖縄音階(ド・ミ・ファ・ソ・シ・ド)を伝える。</li> <li>○ おわりの部分は、必ず「シド」で終わるように伝える。</li> <li>○ 4拍子に分けられた画用紙に階名を記入する。</li> <li>○ 画用紙1枚に1音とする。</li> <li>○ 作った音楽を教師、又は児童が発表する</li> </ul> |
|     | 5 ティニックリング<br>(拍(3拍子))            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 足型を、ウンパッパのリズムになるように、机の周りに置く。</li> <li>○ 児童は、足形を順に踏んでいき、3拍子のリズムの練習をする(ウン=両足、パッ=片足)。</li> <li>○ ティニックリングの棒を二本音楽に合わせて動かし、3拍子の足型を順に踏んだリズムに合わせて、棒の間にある足形を踏む。</li> <li>○ 棒を動かしたい児童がいた場合、実態に合わせて行う。</li> <li>○ 慣れてきたら、棒が動いているとき、棒に触らなければ</li> </ul>  |

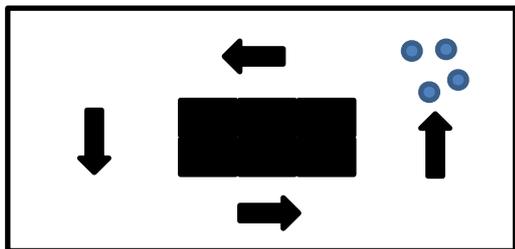
※T2は、一人で行うことが難しい児童の支援をする

### <場の設定>

●・・・児童の位置

▲・・・教師の位置

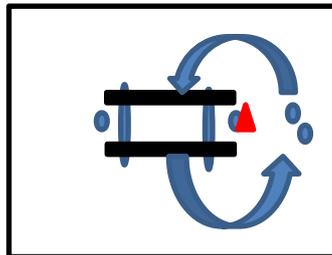
【曲に合わせて体を動かそう・反復】



机を中央に集める  
方通行にする

・友達の体を触らないように促す

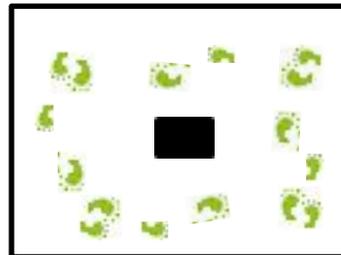
【ティニックリング】



・後ろのスペースで行う

・友達の体を触らないように促す

【3拍子の練習】



方通行

・足形を踏む

### <板書計画>

【曲に合わせて体を動かそう】



ノクターン第2番

【音楽づくり】 (例)

| はじめ     | なか       | はじめ     | おわり     |
|---------|----------|---------|---------|
| ド ミ ソ ミ | ファ ミ ド ミ | ド ミ ソ ミ | ソ シ ド ◇ |

おわりは、

シ ド ◇ ◇

でも、

ソ ミ シ ド

もよい。